



1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和8年6月に公表した「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」の概要は、次の通り。

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：177万トン（前年度比0.8%減）

総供給量：179万2000トン（同1.2%減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：33万7000トン（同7.2%減）

【異性化糖】

消費量および供給量：76万6000トン（前年度同）

（1）砂糖の消費量

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の砂糖の消費量は、177万トン（前年度比0.8%減）と見通している（表1）。内訳を見ると、増減の要因として、引き続きインバウンド需要が堅調と見込まれる一方で、物価高、低甘味嗜好、人口減少などの影響によ

る減少が想定される。直近の消費動向やこれらの要因を勘案し、分蜜糖の消費量は173万4000トン（同0.7%減）と見通している。含蜜糖の消費量は近年の消費動向などを勘案し、3万7000トン（同5.1%減）と見通している。

表1 令和7砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

			令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				
				10月－12月 (実績)	1月－3月 (実績)	4月－6月 (実績見通し)	7月－9月 (見通し)	合 計
消費量	分 蜜 糖		1,747	457.7	400.7	442.2	433.1	1,734
	含 蜜 糖		39	8.0	10.0	10.1	8.4	37
	合 計		1,785	465.7	410.7	452.3	441.5	1,770
供給量	国内産糖	分蜜糖	683	337.4	259.6	41.6	－	639
		含蜜糖	11	1.5	6.5	1.1	－	9
		小 計	694	338.9	266.1	42.7	－	648
	輸 入 糖	分蜜糖	1,114	296.3	207.2	348.4	286.2	1,138
		含蜜糖	7	1.5	1.8	1.9	0.8	6
		小 計	1,120	297.8	209.0	350.3	287.0	1,144
	合 計	分蜜糖	1,797	633.7	466.8	390.0	286.2	1,777
		含蜜糖	17	3.0	8.3	3.0	0.8	15
		小 計	1,814	636.7	475.1	393.0	287.0	1,792
期末在庫		334	496.4	513.3	462.5	308.0	308	

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

（2）砂糖の供給量

令和7砂糖年度の砂糖の供給量は、179万2000トン（前年度比1.2%減）と見通している。内訳を見ると、分蜜糖の供給量は177万7000トン（同

1.1%減）、含蜜糖は1万5000トン（同11.8%減）と見通している。

国内産糖（分蜜糖）の供給量は、てん菜糖については、令和7年産のてん菜の作付面積は4万7965

ヘクタールで、前年産と比較して1.8%（881ヘクタール）減少した。作柄については、4月下旬の天候不良による初期生育の遅れや、夏場の高温および一部で干ばつがあったことに加えて、9月以降も気温が高く経過したことなどから、根中糖分が低下するとともに、1ヘクタール当たりの収量は平年よりも多かった昨年を下回り、産糖量は49万1000トン（前年度比9.1%減）、供給量は49万トン（精製糖換算〈以下同じ〉。同9.1%減）と見通している。

甘しや糖については、7年産のサトウキビの収穫面積は2万3307ヘクタールと見込んでおり、前年産に比べ1.1%（257ヘクタール）増加した。作柄については、今期は鹿児島県南西諸島および沖縄県での梅雨が平年より短く夏季の少雨傾向が続き、沖縄の一部地域では干ばつが発生した。大きな台風被害がなかったことから、全体としては平年を上回る生育が見込まれ、産糖量は15万5000トン（前年度比3.2%増）、供給量は14万8000トン（同3.2%増）と見通している。

（3）加糖調製品の需給

令和7砂糖年度の加糖調製品の消費量は、輸入価格の下落傾向が一服し、依然として高い水準であることから、33万7000トン（前年度比7.2%減）と見通している（表2）。また、供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表2 令和7砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

	令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	合 計
消費量	363	88.5	78.1	81.5	88.5	337
供給量	363	88.5	78.1	81.5	88.5	337

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。
注3：令和7砂糖年度の消費量は、令和6砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

（4）異性化糖の需給

令和7砂糖年度の異性化糖の消費量は、近年の消費動向を踏まえ、76万6000トン（前年度同）と見通している（表3）。また、供給量は、消費量に見合った量が供給されると見通している。

表3 令和7砂糖年度における異性化糖の需給見通し

	令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績見込み)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	合 計
消費量	766	157.5	176.0	219.2	212.8	766
供給量	766	157.5	176.0	219.2	212.8	766

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2 輸入動向

粗糖（高糖度原料糖含む）、含蜜糖および加糖調製品の輸入動向は、以下の通り。なお、図表はすべて財務省「貿易統計」を基に農畜産業振興機構が作成したもので、1トン当たりの輸入価格はCIF価格（Cost Insurance and Freight：保険料・運賃込みの価格。関税額等は含まれていない）である。

【粗糖の輸入動向】

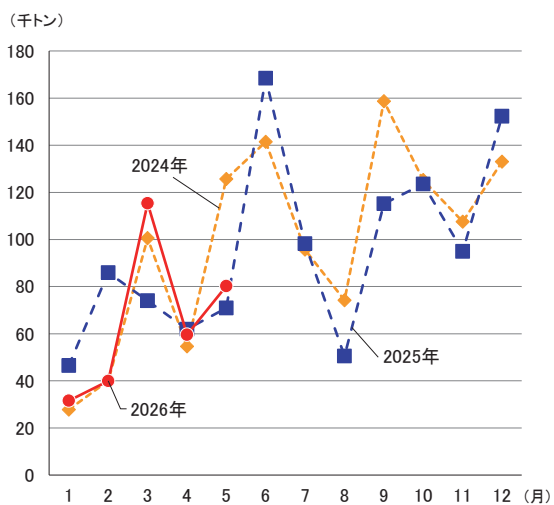
5月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

表 粗糖・高糖度原料糖の輸入量

HSコード	輸入先	（単位：トン）		
		26年5月 輸入量	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
1701.14-110	タイ	18,531	32.9%	774.9%
1701.14-200	豪州	61,726	8.4%	7.4%
合計		80,257	13.2%	34.7%

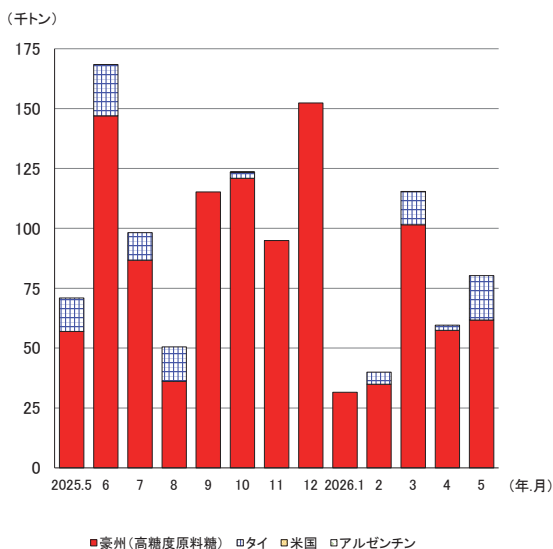
資料：財務省「貿易統計」
注1：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）
注2：合計は端数処理の関係で表中の計算結果と一致しない場合がある。

図 粗糖・高糖度原料糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図 粗糖・高糖度原料糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

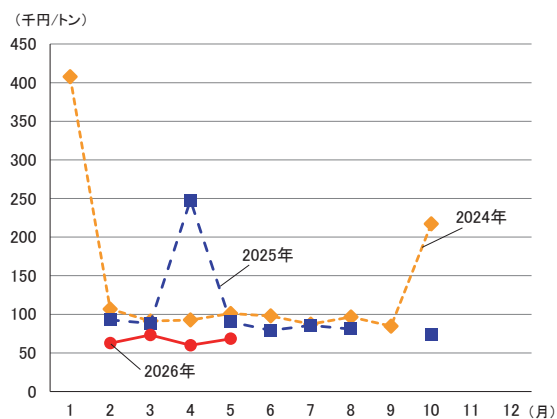
表 粗糖の輸入価格

(単位：円/トン)

HSコード	輸入先	26年5月 輸入価格	前年同月比 (変動率)	前月比 (変動率)
1701.14-110	タイ	68,275	▲ 24.4%	14.0%

資料：財務省「貿易統計」
注：平均は端数処理の関係で表中の計算結果と一致しない場合がある。

図 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2024年11月、12月、2025年1月、9月、11月、12月
および2026年1月は輸入実績なし。

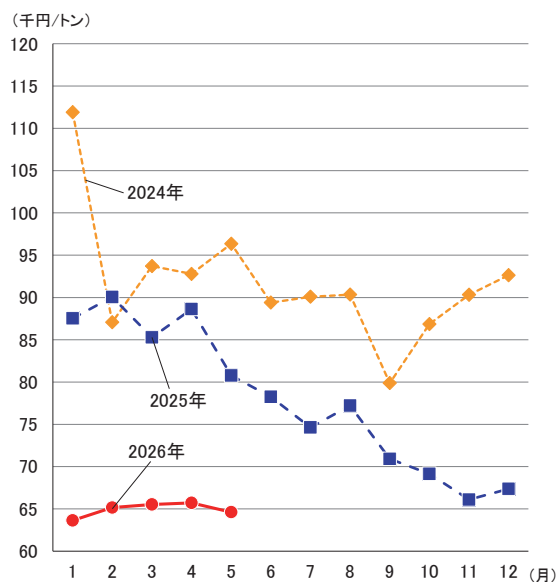
表 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州のみ）の輸入価格

(単位：円/トン)

HSコード	輸入先	26年5月 輸入価格	前年同月比 (変動率)	前月比 (変動率)
1701.14-200	豪州	64,625	▲ 20.0%	▲ 1.7%

資料：財務省「貿易統計」

図 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州のみ）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含蜜糖の輸入動向】

5月の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

表 含蜜糖の輸入量

(単位：トン)

輸入先	26年5月 輸入量	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
中国	313	▲ 33.5%	25.2%
タイ	311	48.1%	▲ 58.2%
フィリピン	10	▲ 73.0%	▲ 70.6%
インド	3	200.0%	▲ 40.0%
パキスタン	—	▲ 100.0%	—
合計	637	▲ 11.5%	▲ 38.3%

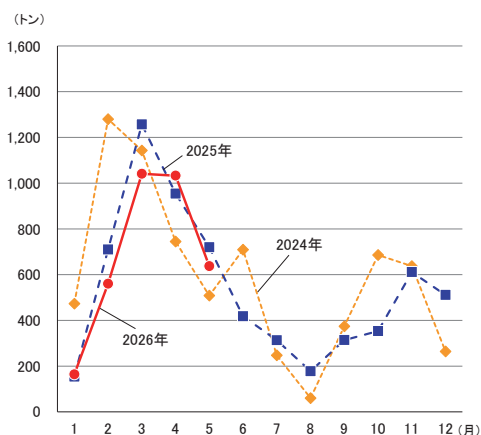
資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1701.13-000、1701.14-190

注2：合計は端数処理の関係で表中の計算結果と一致しない場合がある。

注3：「—」は当月輸入量および比較対象月に輸入実績なし。

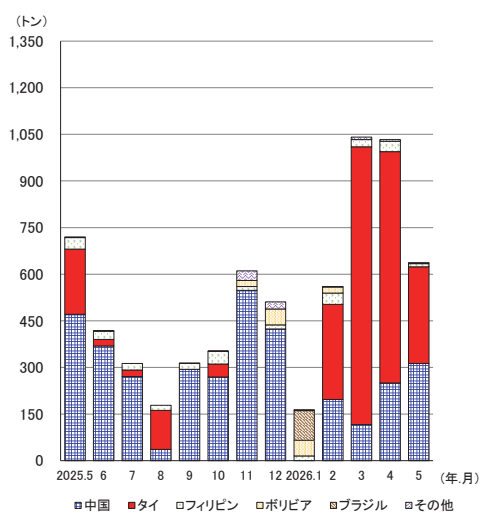
図 含蜜糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図 含蜜糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

表 含蜜糖の輸入価格

(単位：円/トン)

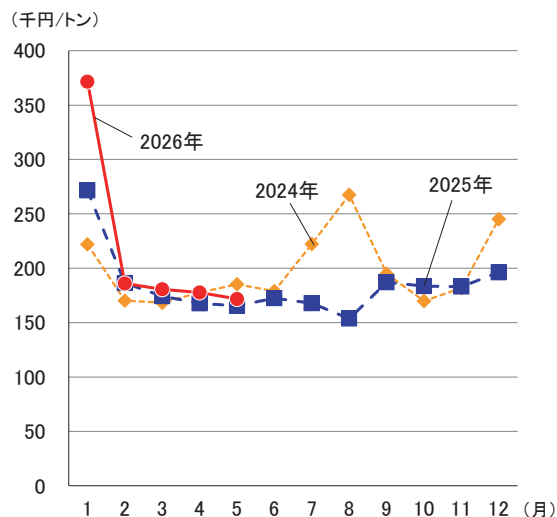
輸入先	26年5月 輸入価格	前年同月比 (変動率)	前月比 (変動率)
中国	176,166	8.8%	▲ 6.3%
タイ	156,537	15.7%	▲ 6.4%
フィリピン	438,600	19.2%	45.6%
インド	404,333	36.1%	11.6%
平均	171,777	3.8%	▲ 3.3%

資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1701.13-000、1701.14-190

注2：平均は端数処理の関係で表中の計算結果と一致しない場合がある。

図 含蜜糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

5月の輸入量は前年同月からかなりの程度減少

表 加糖調製品 品目別輸入量

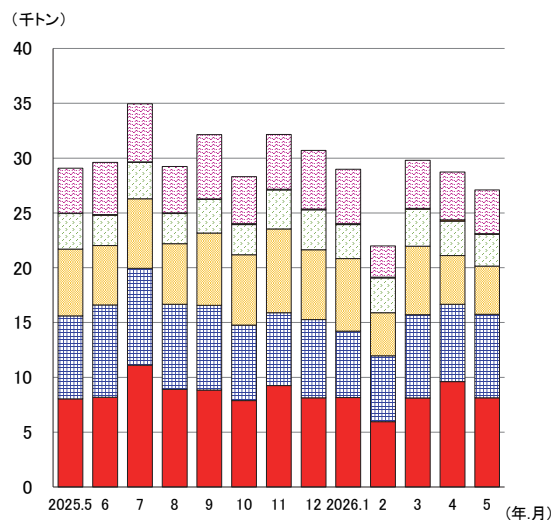
(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	7,608	0.4%	8.0%
ソルビトール調製品	8,135	1.2%	▲ 15.4%
ココア調製品	4,415	▲ 27.5%	▲ 0.7%
調製した豆(加糖あん)	2,894	▲ 11.0%	▲ 7.9%
コーヒー調製品	46	32.4%	▲ 58.4%
その他調製品	3,991	▲ 2.5%	▲ 8.4%
合計	27,089	▲ 6.8%	▲ 5.7%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

図 加糖調製品の品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆(加糖あん)：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

3 異性化糖の移出動向

6月の移出量は前年同月からやや増加

表 異性化糖の種類別移出量

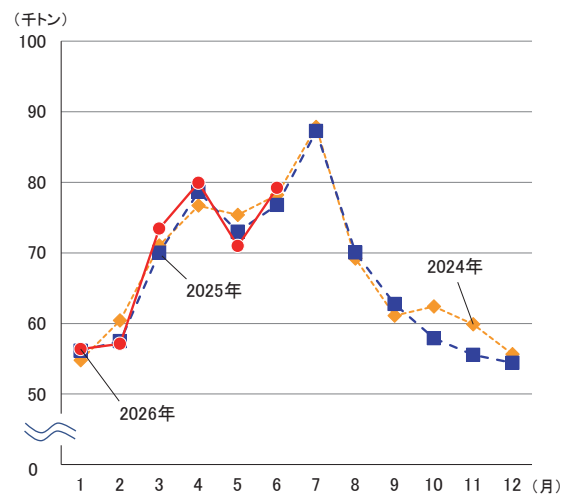
(単位：トン、%)

種類	26年6月 移出量	前年同月比 (増減率)	前月比 (増減率)
果糖含有率40%未満	309	▲ 0.7%	1.4%
同40%以上 50%未満	18,714	0.7%	11.8%
同50%以上 60%未満	59,550	4.3%	11.9%
同60%以上	628	▲ 21.2%	▲ 8.4%
合計	79,201	3.2%	11.6%

資料：農畜産業振興機構調べ

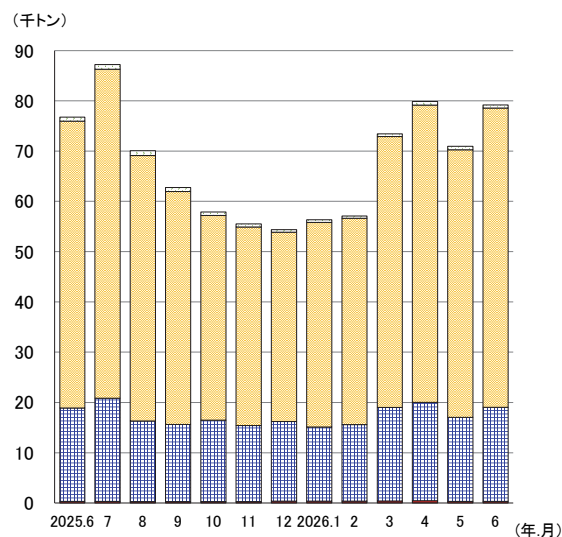
注：合計は端数処理の関係で表中の計算結果と一致しない場合がある。

図 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

砂糖・異性化糖ともに前月と同水準で推移

表 糖種別・地域別の砂糖価格（6月）

（単位：円/kg）

種類	地域	価格（6月）
上白糖 （大袋）	東京	241～243
	大阪	241～243
	名古屋	244
	関門	246
本グラニュー糖 （大袋）	東京	246～248
	大阪	246～248
	名古屋	249
ビート・ グラニュー糖 （大袋）	東京	244～246
	大阪	244～246
	名古屋	245

注：日本経済新聞社の価格による。

（単位：円/kg）

種類	地域	価格（6月）
上白糖 （小袋）	東京	261～265
	大阪	264～265

注：日本経済新聞社の価格による。

表 異性化糖価格（6月東京）

（単位：円/kg）

種類	地域	種類	価格（6月）
異性化糖	東京	果糖分42%もの	171～174
		果糖分55%もの	177～180

注1：日本経済新聞社の価格による。

注2：大口需要家向け価格、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%。

【小売価格】

6月の上白糖小袋の平均小売価格は269.1円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（〈全国3800店舗〉、以下同じ）によると、スーパーにおける6月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、269.1円（前年同月差0.2円高、前月差1.6円安）であった。

表 上白糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

地域	平均 価格	前月 価格差	前年同月 価格差
北海道	328.9	▲ 0.3	28.0
東北	286.5	0.5	3.8
関東など	249.2	▲ 2.4	0.0
首都圏	268.5	▲ 4.0	6.2
中部	267.2	▲ 0.2	▲ 5.0
関西	260.8	▲ 0.5	0.7
中国・四国	292.2	1.6	8.5
九州・沖縄	278.0	▲ 0.2	0.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンダイジング・オンRDSPOS〈全国3800店舗〉）

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンダイジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

注4：地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

6月のグラニュー糖小袋の平均小売価格は328.8円

スーパーにおける6月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、328.8円（前年同月差3.1円高、前月差5.1円安）であった。

表 グラニュー糖の地域別平均小売価格（6月）

（単位：円/kg）

地域	平均 価格	前月 価格差	前年同月 価格差
北海道	351.3	▲ 4.4	30.4
東北	358.2	▲ 4.7	1.7
関東など	317.6	▲ 7.1	▲ 0.6
首都圏	321.2	▲ 14.7	2.5
中部	348.0	0.0	▲ 0.3
関西	304.3	▲ 3.0	3.7
中国・四国	336.6	▲ 0.3	11.2
九州・沖縄	335.6	▲ 0.5	2.0

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンダイジング・オンRDSPOS〈全国3800店舗〉）

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンダイジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

6月の三温糖小袋の平均小売価格は309.3円

スーパーにおける6月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、309.3円（前年同月差0.2円高、前月差1.6円高）であった。

表 三温糖の地域別平均小売価格（6月）

(単位：円/kg)			
地域	平均価格	前月価格差	前年同月価格差
北海道	388.2	25.0	25.4
東北	342.0	0.5	2.0
関東など	297.1	5.1	0.1
首都圏	292.3	5.9	2.5
中部	323.9	1.0	▲ 8.3
関西	296.8	0.9	2.7
中国・四国	335.8	▲ 1.6	2.2
九州・沖縄	303.0	▲ 0.6	3.5

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDSPOS（全国3800店舗））
注1：価格は、消費税抜きの価格である。
注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における現時点の価格差である。

【支出金額および購入数量】

5月の砂糖の支出金額および購入数量は前年同月からかなりの程度増加

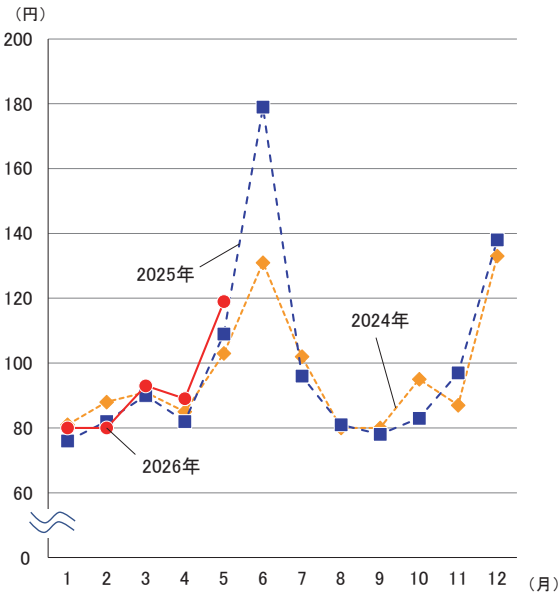
表 砂糖の支出金額および購入数量

(単位：円)		
支出金額（5月）	前年同月比（増減率）	前月比（増減率）
119	9.2%	33.7%

(単位：グラム)		
購入数量（5月）	前年同月比（増減率）	前月比（増減率）
320	9.2%	32.8%

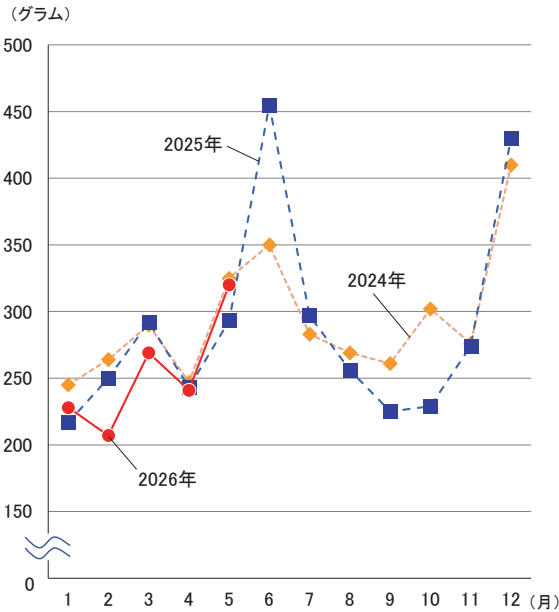
資料：総務省「家計調査」

図 1 世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図 1 世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」